



やまがたBOSQUEの会

活動地：山形県山形市

団体紹介：BOSQUE（ボスケ）とは、スペイン語で森という意味です。山林等自然資源を楽しく有効活用する活動を通して、生活スタイルの提案や、人と人との繋がりづくり、未来につながる食・住・環境作りを目指している団体です。

活動内容

活動名：地域に眠る資源の有効活用のためのワークショップ

開催日時：令和4年9月25日、11月19日、11月26日、

場所：村木沢地区内竹林

参加人数：48人（3回分延べ人数）

目的及び概要：地域にある竹林を使い、竹を使って様々な活動をすることによって、竹の利用価値に気づくとともに、自分でものをつくり遊ぶ感性を養う。ひいては、郷土愛を育むことを目的としています。令和2年度までは、竹を使った工作等を行っていましたが、令和3年度から竹炭製作に挑戦しています。9月に竹を伐採し、窯に入れる長さに切りそろえ、割りました。11月に作成した窯に火を入れて、竹炭を作りました。

活動写真



伐採した竹を切ります



竹割り器で竹を割る



割った竹をコンテナに入れます



竹を窯に入れるために縛ります



竹を窯に入れます



窯に火をいれます



竹炭が完成しました

活動を行っての感想

令和4年度で活動を行って6年目になります。令和4年度も昨年、一昨年同様、新型コロナウイルス感染症の影響下での活動となりました。対象年齢を絞り、少人数制での開催となりました。少人数なので、アットホームなリラックスした雰囲気での活動となりました。令和2年度までは、竹の伐採と、竹の工作を中心とした活動でしたが、令和3年度より竹炭を作るという新たな活動に取り組み、2年目となりました。まず、9月に竹を伐採し、竹炭の材料となる竹を切って割って乾燥させ、11月にその竹を自作の窯で炭にしました。2年目の今年度は、昨年度の経験をもとにスムーズに竹炭を作ることができました。大人も子供も楽しく安全に活動することができてよかったと思います。この活動が、竹林の存在を見つめ直すよい機会となってくれたら主催者としては最高です。今後も、自然とふれあいながら、自然に学び・遊ぶ機会が作れたらと思います。